

人とロボットが 共存する社会を目指して。

出口 央 [五島高校(長崎県)出身]



も ともとロボットが好きだったことから、人工知能の研究に心を惹かれ、九工大に入りました。大学に入学するまではプログラミングや計算機などの知識はまったく無かったのですが、周りの人の助けや、自分自身が興味を持って取り組めたというもあり、何とかやっていくことができました。計算機やプログラミングとかよくわからないという人でも、自分の取り組み次第で、十分にこの大学でやっていけます。

授業で最も面白かったのは、3年生で経験した動画処理の実験です。これは動画中に出てくる人物の頭部を検出・追跡するプログラムをつくるものです。4年生のときには物体の全周囲形状を再現した3Dモデルを構築する研究も行いました。現在は「3次元物体認識」の研究をしており、将来はそれを生かしたシステムを開発したいと考えています。

「ロボットと人が共存する社会」の実現に自分も貢献したいと思っています。

自分が作るシステムで 人々の仕事を支えたい。

前川 玲奈 [戸畑高校(福岡県)出身]



子 頃の頃はイラストレータになりたいと思っていましたが、高校生の時、雑誌で読んだシステムエンジニアの記事に感銘を受け、その道を志すようになりました。

そして、人間の知能に近いモノを作るということに興味を覚え、九工大の情報工学部を選びました。パソコンが1人1台ずつ使えるという環境も魅力的でした。

大学1年生の時は高校の延長のような授業もありましたが、プログラムの授業も行われるので、とても新鮮に感じました。2年生になると専門的な授業(OSや論理回路など)が増え、次第に熱中していきました。

卒業研究では目的のシステムをプログラミングするなど、興味のある分野をとことん追究しています。

卒業後はシステム設計に携わる職に就き、自分の作ったシステムで様々な仕事を支援していきたいと思っています。